



日本ニュース

シネスコ版

新島ニース No. 330
天草漁はじまる一取巻 - 94頁
本編トッパへ

No. 495

38. 7. 12

一、国産ミサイル試射

—新島

七月八日、東京都下新島でわが国初の国産ミサイル実験が行なわれました。この日濃い霧に包まれた新島に、朝早くから村の人達が実験を見ようと試射場へつめかけました。やがて二・八四メートルのミサイルが運ばれ、係官の手際良い準備でいよいよ発射です。轟音一発、ジェット機のように飛び立つミサイルはついに成功しました。

二、おそろいで軽井沢へ

—皇太子ご一家

去る八日、久しぶりでおそろいになられた皇太子ご一家は、東京を離れて軽井沢へ向われました。この日、上野駅にお着きになられた美智子さまは、浩宮さまとご一緒に特別列車にお乗りになったが、久しぶりのお姿を見ようと集った乗客に始終にこやかに会釈されました。しかし長いホームをお歩きになった美智子さまは、お顔の色もあまりすぐれず、座席におすわりになってホッとされたご様子です。

三、お荷物から人気者へ

—暴れる猛牛

万年最下位とうたわれた猛牛バッファローズ。さすがの猛牛も今年はどうやら眼を覚ましたようです。即ち汚名挽回と一枚看板を背負い立ち張切る近鉄ナイン。別当監督の紳士的指導を受け、一躍今年の成長株へのし上がったバッファローズ。今や押も押されぬ「暴れる猛牛」となっていました。

永い眠りから覚めた猛牛は、根強い根性と執着とによって、これまでの「お荷物」から人気者へと躍進したのです。そして今日は大阪日生球場で地元同土南海との一戦。いまやこのカードを見ようとつめかけるファンは大きすぎ。

いよいよ試合開始です。三回早くも近鉄は、打者十四人を繰り出して猛攻撃。関根、矢の浦の本塁打を含め、この回一挙九点。驚くべきこの猛打！

さらに追加点を加え、今季二度目の全員安打。名実共に「猛牛バッファローズ」と化してしまいました。

さすがの南海もこの日ばかりはどうやら「お手あげ」のよう。躍進バッファローズ部隊は後半戦でもその猛牛ぶりを発揮し、大いにファンを楽しませてくれる事でしょう。